



思いのままにアルザス

tourism-alsace.com
ALSACE

訪れる人々を待ち構えるおどろきの数々…

tourism-alsace.com
ALSACE

訪れる人々を待ち構えるおどろきの数々

アルザス地方観光局
20A, rue Berthe Molly - BP50247 - F 68005 Colmar Cedex
Tel : +33 (0)3 89 24 73 50
www.tourisme-alsace.com

バ・ラン観光開発局
9, rue du Dôme
F-67061 Strasbourg Cedex
Tel : +33 (0)3 88 15 45 99
Fax : +33 (0)3 88 75 67 64
www.tourisme67.com
info@tourisme67.com

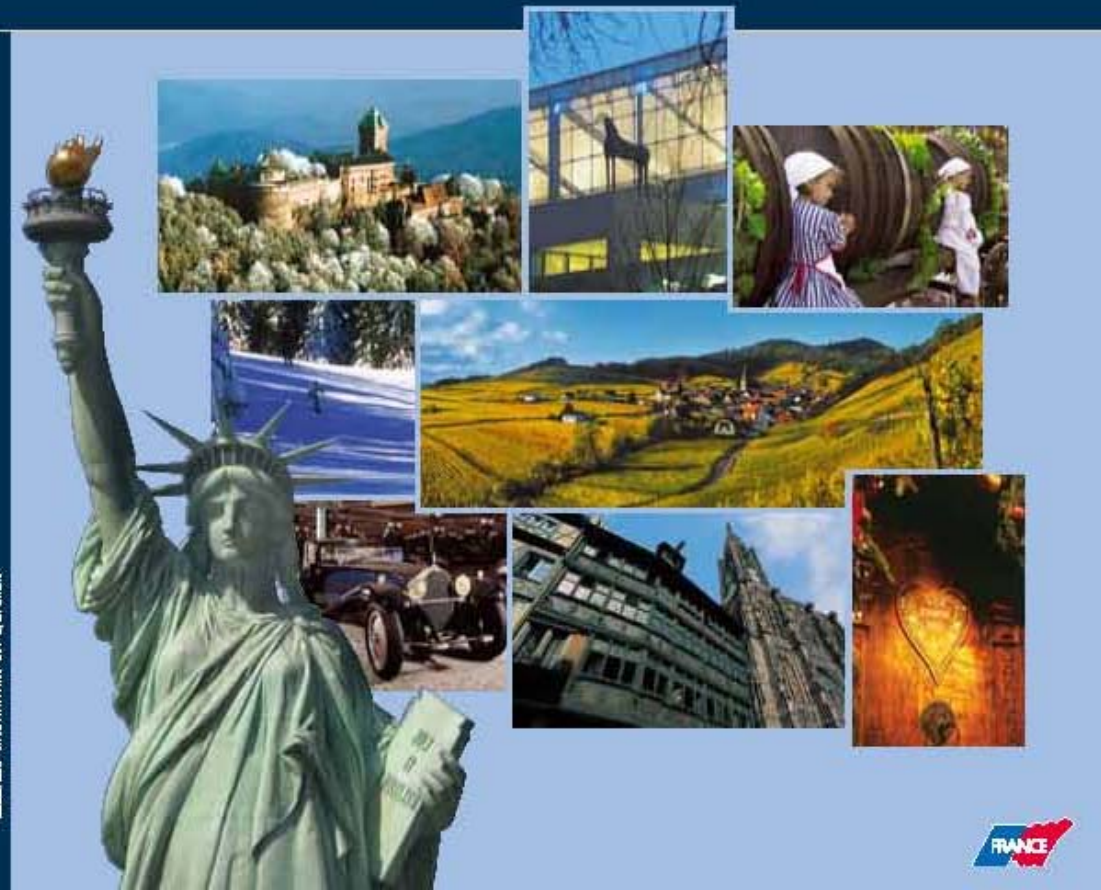
オ・ラン観光協会
1, rue Schlumberger
BP 60337 - F-68006 Colmar Cedex
Tel : +33 (0)3 89 28 10 60
Fax : +33 (0)3 89 23 33 91
www.tourisme68.com
adt@tourisme68.com

滞在キャンペーンに関するお知らせはアルザス観光局の公式サイト(フランス語)内の
offre sejoursのボタンをクリックしてください。
www.tourisme-alsace.com

ご予約先:

Service Loisirs Accueil Bas-Rhin :
Tel : +33 (0)3 88 15 45 95 - ala@tourisme67.com
Service Loisirs Accueil Haut-Rhin :
Tel : +33 (0)3 89 28 18 60 - adtcom@tourisme68.com

アルザス館 - アルザス旅行・観光
Tel : +33 (0)1 53 83 10 10 info@maison-alsace.com



強い独自性、確固たる伝統、美食の文化……。個性溢れるこのアルザスの地には芸術と歴史、文化が住民の生活の中にしっかりと根付いています。異国の情緒を漂わせながらもどこかなつかしい、そんな冒険心をくすぐる景観が奏でる美しい色のハーモニーに、日常や、思いがけない場面で登場するエスプリに富んだ言葉の数々……。ダイナミックな自然と、秘めたる親密な表情を同時に兼ね備えたアルザスの類稀で繊細な魅力の全てをのぞいてみませんか。

アルザス、訪れる人々を待ち構えるおどろきの数々

ジャック・ドレフェス アルザス州議会副議長、地方観光局局长

ALSACE

目次

チョイス様々、自由自在 P. 4-5

アルザス、大人も子どももおどろき一杯

お祭り気分自由自在 P. 6-7

アルザス、陽気なムードでおどろき一杯

アウトドア自由自在 P. 8-9

アルザス、冒険好きもおどろき一杯

ライフスタイル自由自在 P. 10-11

アルザス、完璧主義者もおどろき一杯

思想自由自在 P. 12-13

アルザス、豊かな才能でおどろき一杯

交流自由自在 P. 14

アルザス、国際派もおどろき一杯

観光地図 P. 15-16





錬鉄製の看板が
 アルザスのガイドを
 務めます。

チヨイス様々、自由自在

アルザス、大人も子 どももおどろき一杯

アルザスの地を訪れる人は、誰もが魅力溢れるチヨイスの数々に頭を悩ませるはず。遊び心溢れる博物館を見学しても、不思議いっぱいのお城を探検するのもよし。オオワシに圧倒されるも、地元のサル山をのんびり訪れるのもよし…。アルザスには皆さんが予想もしなかったような驚きが盛りだくさん。さあ、心の準備はOKですか？お子さんに「なぜ自由の女神がアルザスにあるの？」と聞かれても驚くことのないように…。

4

5

- ① キンツハイムの鷲狩り場
- ② レンバックのフレクシユタイン城での催し
- ③ オー・クニグスプールの猿山
- ④ ウンゲルザイムのエコミュージアムにあるメリーゴーランド



- ⑤ ミュールーズのエレクトロポリスでの電気体験
- ⑥ クリスマスマルシェの夢のような光景
- ⑦ 遊び心満載のプール
- ⑧ レンバックのフレクシユタイン城での催し

- ⑨ おもちゃ博物館
- ⑩ ヴァイレで開催されるイベント「真夏の夜の夢」

1

アルザスのワイン畑が
 秋の光の中で
 黄金にきらめきます。

お祭り気分 自由自在

アルザス、陽気なムードでおどろき一杯

アルザスっ子にとって、お祭りはお決まりの年間行事を超えた生きがいそのものです。生ビールをぐいと飲み干すのも、バルコニーに咲き乱れる花々にうっとりするのもよし。クリスマスのマルシェをひやかしても、フォークダンスに心弾ませるのもよし。大声で言葉を交わし、腹の底からカラカラ笑う豪快なアルザス気質。あなたも、もうその魅力の虜です。



- ① アルザスの「国民的」料理、ベックオフ
- ② 学生と船乗りの守神、聖ニコラ
- ③ 夏の間中盛り上がりを見せるブドウ栽培者たちの祭り
- ④ アルザスのシンボル、コウノトリの巣

- ⑤ アルザスのフォークダンス
- ⑥ 特徴的なアルザスの建築様式：色鮮やかな木組みの家
- ⑦ アンジの手による、典型的なアルザシエンスの肖像

- ⑧ アルザスのブラスリー
- ⑨ 年末に食べるアルザスの伝統菓子、レ・プレデル
- ⑩ 聖ヨハネの日の火祭り（6月24日前後、日本の夏至に当たる）

ファンはもちろん、初心者も大歓迎のパラグライダー場で満点のスリルを味わって！

アウトドア 自由自在

アルザス、冒険好きもおどろき一杯

アルザスでは、大空も大地もレジャーの舞台。パラグライダーで風を切っても、スキーで傾斜を滑走するもよし。アドベンチャーパークで冒険するのも、和気あいあいとピクニックするのもよし。山や谷のある風景を、ローラースケートやタンDEM、カヌーで気の向くままに駆け巡り、アルザスの全てを発見しませんか。



3

- ① 環境保護地区内の小高い丘の小道に咲く黄リンドウの花
- ② ヴォージュ山脈の眺めも最高、山の中に点在する湖
- ③ ラインラントの湿原に包まれ、冒険はあなたのオール次第
- ④ 葡萄畑の中を乗馬でお散歩



2



4



5



6



9



8



10



7



11

- ⑤ 農家レストラン（フェルム・オーベルジュ）の休息で、名物のマルケルチーズ料理をじっくり賞味
- ⑥ アドベンチャーパークなら、木登りだって安全アルザスを横切る1000kmのサイクリングコース河、運河...水辺のアルザス発見ルート

- ⑦ アルザス南部のユナングでの急流下り
- ⑧ スノーラケット（西洋かんじき）をはいて、いざヴォージュ山脈へ
- ⑨ 16,500kmに渡って標識がいっぱい！ヴォージュ山脈はハイキング愛好家のパラダイス

葡萄畑に囲まれた
 アマルシュヴィルゴルフ場。
 この他にも白いボールの
 愛好家のために、
 アルザスが用意した
 ゴルフコースは
 全部で11あります。

ライフスタイル自由自在

アルザス、完璧主義 者もおどろき一杯

充実したライフスタイルは
 アルザスっ子の最大の関心事です。
 ゴルフ三昧もコンテンポラリーアート鑑賞もよし、
 美食のディナーでもアルザス発見の散策でもよし。
 この類稀なる魅惑の地アルザスでは、
 「美」があらゆる場面で、その完璧主義の表情を
 覗かせているのです。



- ① アルザスの音楽文化の豊かさを物語るミュージックフェスティバルの数々
- ② ミュールーズ 国立自動車博物館 コレクションの花形、ブガッティロワイヤル
- ③ 宿泊施設の充実したアルザス



- ④ ストラスブール大聖堂の天文時計
- ⑤ グラン・バロンの麓に聳え立つ、ミュルバックにある元ベネディクト派修道院の後陣
- ⑥ これなくしてアルザスは語れない ワインカーヴの見学
- ⑦ アルザス平野に臨むオー・クニグスブール城の威厳に満ちた姿



- ⑧ ストラスブール近代美術館のテラスに聳え立つ、ミステリアスなバラディノの馬
- ⑨ アルザスグルメの至宝、ガチョウのフォアグラのパイ包み






450の手稿、530のインキュナブラに加え、
16世紀にまでさかのぼる
2000以上の印刷物までを含む
豊かなコレクションを収容しています。
ヒューマニスト図書館は
ベアトウス・レナヌスによって
1452年にセレスタに創設されました。

思想自由自在

アルザス、豊かな 才能でおどろき一杯

アルザスの偉大な人物たちは、
常に自らの存在の証を残してきました。
神話を題材にした絵画に彼らの足跡を認めるのも、
歴史的記述に詳細を求めるのもよし。
職人芸の光る織物愛でるのも、
ヒューマニストの輝かしい過去を訪ねるのもよし。
数多くの思想の流れが、
今日のアルザスの創造性を築き上げたと言
うことができるでしょう。

- ① & ⑥ バルトルディ美術館所蔵の「自由の女神」の完成模型。 
- ② コルマル生まれの彫刻家、オーギュスト・バルトルディはペルフォールのライオン像の製作者としても知られています。
- ③ ミュールーズの染色博物館 
- ④ コルマルのウンターリンデン美術館所蔵の「東方三博士の礼拝」 
- ⑤ ヴェセルランの織物・服飾博物館



②



①



③



④





⑥



⑤



⑦



- ⑧ セレスタのヒューマニスト図書館 
- ⑨ ベツェドルフの製陶工場 



⑨



⑧

- ⑩ コルマル、ウンターリンデン美術館の花形、マチウス・グリユネバルトによる「イーゼンハイムの祭壇画」 
- ⑪ 祭壇画に描かれた幻想的な一幕「聖アントワーンの誘惑」 

ゴシックの威厳に満ちた
 ストラスブールの
 ノートルダム大聖堂と
 見事なメゾン・
 カンメルツェルの
 ツーショット

交流自由自在

アルザス、国際派もおどろき一杯



1

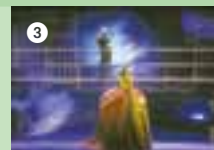


2

- ① ミュールーズのレユニオン広場と市庁舎
- ② ストラスブールの中心に位置するオム・ドゥ・フェール広場
- ③ アルザスのアートの窓、ラインオペラ座
- ④ コルマルの魚屋通りの木組みの家並み



6



3



4

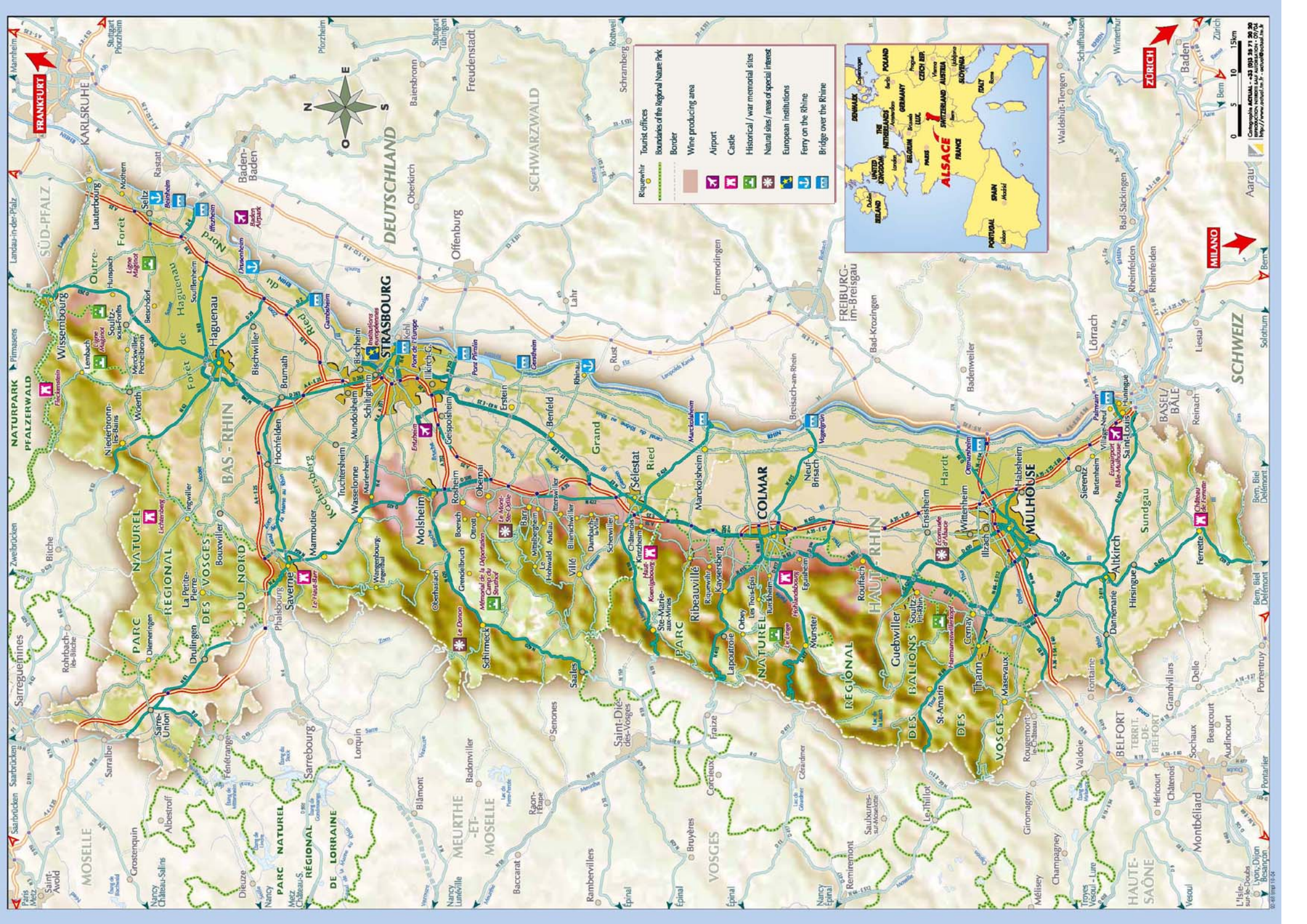


5

アルザスは世界に向かって開かれた国際的な地です。
 「欧州の首都」を見学しても、
 アルザスのプティット・ベニス訪れてもよし。
 ライン国立オペラ座で観劇するも、
 独仏庭園を散策するのもよし。
 様々の影響を受け、
 独自の気風を育んできたアルザス。
 その豊富で多様な表情は
 世界中の人々を魅了し続けるのです。



- ⑤ ストラスブールのクヴェール橋
- ⑥ ストラスブールの欧州議会



Legend

- Riquewihr: Tourist offices
- Boundaries of the Regional Nature Park
- Border
- Wine producing area
- Airport
- Castle
- Historical / war memorial sites
- Natural sites / areas of special interest
- European institutions
- Ferry on the Rhine
- Bridge over the Rhine

